



あなたを待っている子どもたちのために

第6回 「分かる・できる授業のために①」

令和5年2月8日（水）発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

第6回プレゼミナールを開催しました！

令和5年2月4日（土）仙台市教育センターを会場に令和4年度第6回仙台市教員プレゼミナールを開催しました。今回は、「分かる・できる授業のために」というテーマで、仙台市のGIGA スクール構想の現状について学んだり、一人一台端末を活用し授業支援ツール等を実際に体験したりしました。参加者は、遠隔地在住等によるオンライン参加者を含め59名でした。

1 「ICT 機器の効果的な活用 ～仙台市のGIGA スクール構想の現状～」

仙台市のGIGA スクール構想の現状やGIGA スクール構想のもとでの授業実践のポイント等について、教育センターの指導主事が話をしました。仙台市のGIGA スクール構想の現状については、教職員のICT 環境、仙台市のネットワークの環境、仙台市の教職員の端末活用状況、1人1台端末を活用した授業実践例、授業以外の場面での活用事例等について知りました。また、GIGA スクール構想のもとでの授業実践のポイントについては、調べる、記録する、まとめる、発表する場面等で積極的に活用させること、「知識」は教師主導の教え込みだけではなく、生徒主体の調べる活動でも身に付けさせること、生徒に身に付けさせるものは「学び方」であることなどを学びました。最後に、「まなびポケット」や「MEXCBT（メクビット）」等の便利なアプリの紹介もありました。



2 「授業における1人1台端末の活用」

教育センター指導主事の指導の下、「Google Workspace for Education」及び「ロイロノート」を実際に体験しました。「Google Workspace for Education」体験では、クロムブックの基本操作、各種のアプリケーションを確認後、「スプレッドシート」を使って悩みを共有し、「Jamboard」を使って悩みを整理しました。また、「スプレッドシート」、「Jamboard」を活用する際の注意点等について学びました。後半の「ロイロノート」体験では、付箋紙に自己紹介を入力し、その付箋紙に撮影した写真を挿入したり、録画した動画を挿入したりしました。実際に体験することで、いろいろな気づきを得ることができました。



<受講者の声>

○学校の現状とアプリの使い方について知ることができました。アプリについて、話題になっていたり目にしたりすることはありましたが、実習中や大学の授業、一人の時だとなかなか触れる機会がなく活用の仕方を考えたり操作を学んだりすることもないので、研修でたくさんのことを学べて本当に良かったです。また、現場でアプリをうまく活用できない現状もあることや子どもたちと一緒に進むと想定より時間がかかることなども知ることができたので、そういった点のカバーの仕方などを考えて備えておきたいと思いました。今後、活用の幅を広げていきたいです。

○学校現場でよく用いられている、スプレッドシートやジャムボードを実際に使いながら、活用の仕方を知ることができた。どちらも今まで使ったことがあったものの、知らない機能をたくさん知ることができ、とてもためになった。ロイロノートは初めてだったので難しかったが、今日経験できたことで学校現場でスムーズに使えるようになると感じた。



○夏に教育実習に行っていたときに、子どもたちがクロムブックを使っている姿を見て、子どもたちに教える前に自分が操作することができるかどうかとても不安になったことを思い出しました。今回の講話で、様々なツールを紹介していただいたり、体験したりすることができて、自分が知らなかった機能などもあり、とても勉強になりました。子どもたちのよりよい学びのために、場面に合わせて最適な方法を選んで活用することができるように、今のうちから活用の仕方をおきたいと思いました。また、便利な機能を使うことができるようになると同時に、情報の取り扱いにおいてさらに注意を払わなければならないということも改めて感じました。ありがとうございました。



○本日はアプリを使って、体験的に授業づくりを学習することができ、どのように授業の中で使うかなど具体的にイメージをすることが出来た。漠然とGIGAスクールという言葉だけでは知っていたが、何をすべきか、どのように伝えるべきかが全くわからなかったため不安を少し軽減することができた。使い慣れれば慣れるほど効率上がり、また、子どもたちの学びにも恩恵が出るため、使い慣れるまで大変だが教員としてそのようなことも日々学び続ける必要があると感じた。私たちが今後

教える子どもたちは私たちの想像できない社会を生きていくため、その責務は大きいと改めて体感することができた。最後に体験的な学習はやはり面白いなと感じました。本日もありがとうございました。

○今回の研修会を通して、様々なことを勉強させて頂きました。このような貴重な機会を経験させて頂き、ありがとうございました。今回の研修会を通して、特に印象に残っていることは次の2点です。1つ目に、ICTの活用と学習規律の徹底はセットであるということです。私が主免許の実習で中学校に行ったときも、副免許の実習で小学校に行ったときも、先生方は授業の中で積極的にICTを活用されていました。ICTの活用は、主体的・対話的で深い学びの実現に繋がる可能性を秘めています。それと同時に、子どもたちの集中力が途切れるきっかけになってしまう可能性も孕んでいます。私が授業でICTを活用する際は、今回の講話で先生が仰っていたように、学習規律の徹底を前提にしていきたいです。そのためには、初日からいきなりICTを活用するのではなく、いわゆる「黄金の3日間」でまずは学習規律を固めていきたいです。2つ目に、ICTを活用する機会を保障することの重要性です。今回、私たちも実際にGoogleワークスペースのアプリやロイロノート・スクールを使用しました。特に私はロイロノート・スクールを使用することがなかったため、はじめは操作に不安を覚えていました。しかし、実際に使ってみたことで、その不安は徐々に軽減されていきました。むしろ、どのように授業に取り入れていくかということを考え、わくわくしました。これは、子どもたちにとっても同じことであると考えます。ご講演の中で、「朝GIGA」の取り組みにより子どものタイピング速度が劇的に向上したというお話がありました。これらのことから、何よりも「ICTを実際に使うことでしか、ICTを使えるようにはならない」と考えました。私が教壇に立ったときは、何よりもICTの使用機会を保障したいです。そのためには、授業の中でICTを使用する機会を日常的に仕組んでいきたいです。



次回（第7回「分かる・できる授業のために②」）は、2月18日(土)に開催します。